

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー
2007.4.1
No.33

多くの証人

三月に教会に来てくださったお客さんたちの話題です。

まず、イスラエルからアブラハムさん。韓国でクリスチャンの大会があり帰りに大阪に寄ってもらいました。

イスラエルにはユダヤ人が住んでいます。ユダヤ人と言えば、中世の時代「キリスト殺し」と非難を受けて大きな迫害を受けました。第二次世界大戦の時にはヒトラーによって六百万人のユダヤ人たちが殺害されました。一般的にはユダヤ人たちはユダヤ教を信じています。



「キリスト」の名のもとに辛酸をなめた彼らにとってクリスチャンは敵でした。

(彼らを迫害したのは聖書を正しく理解していなかったためで、一部のクリスチャンたちは迫害を非難したり、ユダヤ人をかくまったりしました。)ところが、ここ最近、イエスは旧約聖書が約束していた「救い主(キリスト)」であると信じるユダヤ人が増えてきたのです。ユダヤ人たちは今でもイエス以外の「救い主(メシア)」を待っています。イエスこそ救い主であったと悟った人たちがクリスチャンとなったのです。彼とも十年ぶりぐらいの再会でとても楽しく過ごしました。

次に、リビングストーン夫妻。彼らはこの六月に三十八年間にわたる日本での働きを終えて、奥さんの故郷カナダに戻られます。ご主人はアメリカ人で、二人は海外宣教を志し、シカゴの宣教訓練校で知り合ったそうです。奥さんはまず南米コロンビアへ二年間宣教に行かれました。ご主人は日本に短期で来られました。大阪で行われた万博で二〇〇万枚の

トラクトを配ったそうです。当時、フランス、コロンビア、ナイジェリア、日本が宣教候補に上げられていましたが、日本は人気がなかったそうです。理由は日本語の難しさです。

ところが、彼らは神さまの導きの中で一九七一年来日したのです。東京で日本語学校に行かれ、その後、埼玉県浦和、岡山県倉敷、大阪府堺市と移りながら多くの働きにたずさわりました。特に、福音ラジオ放送のエンジンニアとして労され、それが今の「聖書と福音」の番組に引き継がれています。八年ほど前から奥さんがパーキンソン氏病にかかれ、看護をしながらの奉仕でした。

何が大変だったかという質問に「日本人の心はなかなかわかりにくい。口で言うことと心で思っていることが違う。」と言っておられました。(同じ日本人でもわからない、とみんな口々に...)このような方々の労苦を通して、聖書のことを知ることができたのですね。二人の生き様そのものが大きな励まし、慰めでした。



Eの読書コーナー チムとつだいを守る

エドワード・アーディゾーニ著

チムは海の大好きな男の子です。チムには二人のともだちがいました。男の子のジンジャーと女の子のシャーロットです。

これはチムが大きくなって船長になるまでのシリーズで全部で十二冊です。さいごの本は書いた人が七十才のときに書いた本です。チムは航海の途中で船のえんとつがあらしでたおれたり、エンジンがうごかなくなるなどのいろいろなトラブルがありました。でもそのきけんをのりこえていつりつぱな船長になっていきます。

ぼくはこのお話がチムのシリーズが一番好きです。なぜかというとうだいがいかいぞくにおそわれたときはゆうかんにたたかいた、ジンジャーはけいさつをよびに一人で帰り、シャーロットは手当てをしてみんなで力を合わせているからです。それからチムのあと一人のともだちの船長もいつしよにきてたたかいました。おもしろくて楽しいのでぜひ読んでください。



浅草雷門。人が
いっぱいでした。



国会議
事堂前で

「こんなことしました！」 行事報告

三月

一日 H十三歳誕生日

九日 JCチャータースクール訪問

十五日 西はりま天文台(ジュニアセッション打ち合わせ)

瀬田敦子「春のティータイム・ミニコンサート」

十七日 生涯学習講座(茶道)

二十二日 ホームスクーラー学芸会&セミナー

二十三日 E九歳誕生日

二十三日~二十四日 若者たちの集いキャンプ(信太山)

二十七日~三十日 日本天文学会ジュニアセッション

(東海大学) & 東京観光(M&H)

二十九日 天王寺動物園

ジュニアセッション

M

「それでは講演番号八番、スターキッスのM・Nさん、H・Nさん、発表してください。」座長に言われて、僕たちは講壇に登っていきました。

僕は一年ほど前から惑星の色について調べてきました。「惑星は同じ太陽の光を反射して輝いているのになぜ違う色をしているのか?」そんな疑問をいただき、天文台の研究員にいろいろ教えてもらって調べてきました。

東京観光

H

私はジュニアセッションが終わってからホームスクーラーのW家に泊まらせていただきました。そして東京観光に連れていってもらいました。まず浅草の雷門に行きました。すごく人が多く迷子になりそうでした。私が思っていたよりも雷門は小さかったです。そこで食べた人形焼がとてもおいしかったです。それから国会議事堂に行きました。地下に行くと、国会議事堂の歴史が紹介されていました。そして三階まで上っていき、議会を見ました。いつもテレビで見ていると、小さく見えたのに本物を見るとすごく広くてびっくりしました。その他にも御休所や中央広間や前庭などを見学しました。いろいろと勉強になり良かったです。

色そのものを調べるためテレビを虫眼鏡で観察することから始まって、だんだん観測なども行っていくようになっていきました。そして今まで調べてきたことを三月の神奈川県東海大学で行われるジュニアセッションで発表することになりました。そうして準備に入りました。まず予稿集作りから始まって、研究成果をまとめたポスター作り、わかりやすくそして見やすいプレゼン作り。作ってみると予想以上に大変。ミスは見るたびに見つかる、プレゼンの練習をするなど、いつもこういうことをしなければならぬ研究員のごさ驚きながら、がんばっていきました。

そして本番当日。五百人入る会場に大体三百人ぐらい集まっていました。不思議とあまり緊張しませんでした。講壇にあがると早速発表が始まりました。途中でスライドとのずれも少しありましたが順調にすすみ、あつという間に五分の発表が終わりました。発表が終わると本当にほっとしました。

口頭発表の後のポスターセッションには多くの人が見に来てくれました。特に実際に実験に使った道具を展示していたのでみんな興味を示してくれました。また「季節によって色が違うかもしれない。」などの意見や、アドバイスもたくさんもらいました。今後この体験を活かして更に惑星の色について調べていきたいです。

編集後記

お気づきと思いますが、新聞タイトルのロゴが変わりました。M制作です。本人はかなり気に入っています。2006度も修了し、後期のがんばりを写真入り手作り通知表に記して渡しました。